2026年 年末チェック

NISA枠 年末チェックリスト 2026

今年のNISA枠、年内に見ておきたい6つのこと

NISA口座をお持ちの方向け
2026年11月時点の公表資料で整理

6つのチェック

☐ ① 今年の枠の使用額を確認

金融庁・日証協

つみたて投資枠は年120万円、成長投資枠は年240万円（合計360万円）。枠は、買ったときの金額（簿価）で計算されます。**使い残した年間枠は、翌年に繰り越せません。**

今年の使用額：＿＿＿＿＿＿＿＿ 円

☐ ② 一生の枠の使用額を確認

金融庁

非課税保有限度額は1,800万円で、そのうち成長投資枠は1,200万円までです。

これまでの使用額：＿＿＿＿＿＿＿＿ 円

☐ ③ 年末の買付スケジュールを確認

日証協

今年の枠になるのは、**受渡日が12/31までの買付**です。年末年始の受付スケジュールは、ご利用の証券会社のお知らせでご確認ください。

☐ ④ 今年売った分を確認

金融庁

今年売った商品の枠は、翌年以降に、簿価（買ったときの金額）の分だけ戻ります。

☐ ⑤ つみたて設定を確認

証券会社

来年のつみたて金額や引落口座を変えたいときは、手続きの方法と時期を、ご利用の証券会社で確認しておきましょう。

☐ ⑥ 2027年1月からの変更を確認

金融庁

0〜17歳もNISA口座を開設できるようになります（つみたて投資枠のみ。年間60万円・非課税保有限度額600万円）。

📱 MoneyMartアプリなら

ホームの「新NISA」→「NISA残高トラッカー」で、NISA枠の残りを、登録した保有から参考値で確認できます。
※正確な残高は証券口座でご確認ください。

証券アプリがバラバラでも、MoneyMartひとつでひと目で。

App Storeで「MoneyMart」と検索
会員登録で、すべての機能が無料

※ 出典：金融庁「NISA特設ウェブサイト」／日本証券業協会「2024年以降のNISAに関するQ&A」（2026年9月）Q28・Q29・Q33。2026年11月時点の公表資料をもとに整理したものです。制度は変更される場合があります。手続きの詳細・期限は、ご利用の金融機関の最新の案内をご確認ください。
※ 情報提供が目的で、特定の金融商品の売買を勧めるものではありません。MoneyMartは情報・分析アプリであり、金融商品の販売・仲介は行いません。
© MoneyMart